2026年冬季プログラム

スキーキャンプのしおり

学校法人仙台ＹＭＣＡ学園　ＹＭＣＡジュニアクラブ
〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7　TEL 022-226-7560　FAX 022-222-2952
E-mail　seishonen@sendai-ymca.org　https://www.sendaiymca.jp

目 次

１．ＹＭＣＡとは.....1
２．ＹＭＣＡキャラクターディベロップメント･キャンペーン.....1
３．スキーキャンプの目的.....1
４．キャンプについて.....2
５．安全について.....2
６．キャンプ中の薬の取扱いについて.....3
７．キャンプの出発まで.....3
８．キャンプ期間中の発熱、怪我等について.....3
９．キャンプの中止について.....3
１０．スキー指導とワッペンテスト基準.....4

１．ＹＭＣＡとは

ＹＭＣＡとは、Young Men's Christian Association（キリスト教青年会）の略で、1844 年にロンドンで設立された、キリスト教主義に基づく国際的な青少年団体です。現在、120 ヶ国に組織され、会員 6,400 万人に達しています。

仙台ＹＭＣＡは 1905 年（明治 38 年）に日本で 8 番目のＹＭＣＡとして結成されました。そして、これまで 110 年以上の歴史を重ねながら一貫して青少年の精神・知性・身体の総合的な成長を願って、さまざまな活動を地域で展開しています。



逆三角形のマークは、ＹＭＣＡのシンボルとして世界中どこでも通用するもので、次のような意味があります。
正三角形は、霊・知・体の均整のとれた人間の成長を表し、外円は円満な人格を表しています。ＸとＰは、ギリシャ語のイエスキリストの頭文字を組み合わせたもので、開かれた書物は聖書を表し、新約聖書ヨハネによる福音書第 17 章 21 節から引用しています。これは、ＹＭＣＡの標語で『すべての人を一つにしてください』という意味です。

２．ＹＭＣＡキャラクターディベロップメント・キャンペーン

現在私たちのＹＭＣＡでは、アメリカから始まった「ＹＭＣＡキャラクターディベロップメント・キャンペーン」を展開しています。人格形成に必要とされる価値は様々ですが、その中でもＹＭＣＡは 4 つの価値：Caring（思いやり）、Honesty（誠実さ）、Responsibility（責任感）、Respect（尊敬心）に注目しています。人は競争原理の中だけで育てられると、自分のことだけを大切にし、まわりの人を思いやる心を忘れ、しいては自分より弱い人を見つけて攻撃するようにさえなっていきます。この 4 つの価値は誰にとっても何も目新しいものではありませんが、あえて今だからこそ、私たちＹＭＣＡはこの 4 つの価値を意識し、プログラムの中に取り入れ、子どもたちに伝えたいと思っています。

３．スキーキャンプの目的

ＹＭＣＡのスキーキャンプは、青少年の成長にとって「スキー」はすばらしい手段として捉えるとともに、共同生活が現在の青少年にとってかけがえのないものとして考え、「キャンプ」という形態で展開しています。これは「スキー」を単に技術を習得するだけのものとして捉えず、成長のための良き教材として考えているからです。

子どもたちの将来には大きな夢があります。この夢の実現に向けて、スキーを通し、キャンプを通し、良き人と出会う機会を設け育んでいきたいと願っています。

① 自然生活を楽しみ、自然に適応する能力を身につける
② 良い習慣を育て実現する
③ 健康のための知識を得て、自分の身体を守る方法を知る
④ 生活を豊かにする技術を学び、創造力を育む
⑤ 良き友人を作る方法を学び、互いの存在と生命を尊重する心を育む
⑥ 民主的なグループ経験から、社会に関わる責任感を育む
⑦ 神の恵みを知り、感謝の気持ちを養う

４．キャンプについて

① キャンプでは、全体の責任を負うキャンプディレクターの他、アシスタントディレクター及びボランティアリーダーがそれぞれの役割を果たしながら指導にあたります。
② ボランティアリーダーは、所定のトレーニングを終了したリーダーから構成されています。彼らは、子どもたちが安全で楽しいキャンプを過ごせるように、自分の持っている能力・情熱・時間をキャンプで奉仕していきます。
③ キャンプの生活グループは、原則として男女別になります、グループ編成につきましても、原則的に年齢の近いお友だちと同じグループとなります。仲の良いお友だちと違うグループで生活する可能性もありますが、個人の自立性を高める上で効果があると考えています。
④ キャンププログラムは、生活 24 時間の全てを土台としています。そして、グループメンバーである各人の興味・欲求から臨機応変に変化していきます。また、子どもたちの年齢や能力・発達段階を考慮しながら、スタッフやグループリーダーがその変化をサポートしていきます。
⑤ 緊急の場合以外は保護者からお子様に対する電話、お呼び出し等は一切お断りします。緊急の場合も、直接お子様を呼び出さず、担当ディレクターまで連絡をお願いします。
⑥ その他ご不明な点や依頼事項は、直接担当ディレクターにお願いします。なおキャンプ運営本部は、ＹＭＣＡジュニアクラブとなります。

５．安全について

① ＹＭＣＡでは健康や安全への配慮を最も大切にしています。
② 特に食物アレルギーについては、プログラム申込時に申請していただきます。申請がない場合は、通常食となります。申請漏れがあった場合は、速やかにＹＭＣＡジュニアクラブまでご連絡をお願いいたします。なお、食物アレルギーについては、キャンプディレクターが宿泊施設に連絡をする都合上、メールまたは電話等で食物アレルギーの詳細をお聞きする場合がございます。
③ キャンプ中は細部にわたり安全チェックを行い、万が一の場合にも応急処置ができるようＹＭＣＡの安全体制と宿舎等の協力関係に万全を期しております。また、緊急を要する場合には、保護者の方に連絡をいたします。場合によっては現地に出向いていただくことがあります。緊急時の連絡等についてはＹＭＣＡジュニアクラブ　パーソナルシートを参考にご連絡させていただきます。
④ 安全には充分配慮致しますが、キャンプ期間中の怪我については、通院、入院のための治療費を以下の通りお支払いします。なお、規定の治療費を超える場合には、各ご家庭で負担していただくこととなります。（病気

の場合は適用されません。）

▼ ＹＭＣＡジュニアクラブより支払われる治療費の限度額

入院の場合　一日につき　3,000 円

通院の場合　一日につき　1,500 円

６．キャンプ中の薬の取扱いについて

① キャンプにご持参いただく薬については、出発当日にご提出いただく「キャンプ調査表」に、服用方法などをご記入の上、提出していただきます。

② 高熱時や発作発生時等、万一の際に服用を指示された薬の服用に関しては、その症状が見受けられた場合は、直ちに保護者の方へ連絡をし、指示通りにさせていただきます。

③ 事前連絡や「キャンプ調査票」等に記載なくご持参された薬の服用については、必ず保護者の方にご確認の上、指示通りにさせていただきます。

④ 上記②及び③で、保護者の方と連絡がとれない場合は、事後に保護者の方へ連絡を入れさせていただきます。

７．キャンプの出発まで

行く場所、宿舎はいったいどんな所なのか、どんな事をするのか、友だちはすぐにできるか、子どもたちにとっては待ち遠しい反面、不安な事もあるでしょう。そうした子どもたちの気持ちを保護者の方々にサポートしていただくと共に、動機付けをしていただければと思います。また健康状態にも気を配り、万全な体調で参加させてください。

▼出発の３日前から検温し、**「キャンプ調査票」**に記入してください。

▼体調がすぐれない場合は必ず医師とご相談の上、無理せず参加の有無を決定してください。

▼キャンプの持ち物をお子様とご一緒に準備してください。**持ち物全てに名前をつけましょう。特に忘れやすい靴下・下着にも書いてください。**

８．キャンプ期間中の発熱、怪我等について

キャンプ期間中に発熱した場合、大きな怪我等については、引率スタッフからご家庭に連絡をさせていただき、状況により、病院へ行くこともあります。

また、キャンプのプログラムを継続できないと判断した場合には、家族の方と相談の上、現地まで迎えに来ていただくか、スタッフが自宅までメンバーを送り届ける事といたします。

９．キャンプの中止について

キャンプ出発前および実施中に以下の状況になった場合、キャンプを中止させていただくことがございます。

① 国から緊急事態宣言が発令された場合

② 外出自粛要請、県をまたぐ移動の自粛要請が出されている場合

③ 宿やプログラム実施予定の施設が利用不可の場合

④ 仙台ＹＭＣＡ危機管理対策本部がキャンプの中止を判断した場合

１０．スキー指導とワッペンテスト基準

ＹＭＣＡでは、スキーの基本をＶ字操作におき、それを習得する過程でも雪に慣れ親しみながら、スキー用具と一体化するような独自の指導法を用いています。
また、基本のＶ字操作を習得した子どもたちには、不自然なそして無理なフォームを押しつけることなく、バランス感覚、スピード感覚、リズム感覚を高めながら、一人一人の持つ本質的な力を高めることにより、スピード技術を向上させることを目標にしています。また、仲間からの良い刺激を受けながら、効果的なレッスンを可能とするために、少人数のグループ指導を行います。

ＹＭＣＡでは、習得した技術を 12 段階のワッペンで評価するワッペンテスト（仙台ＹＭＣＡでは 2 泊以上のキャンプで実施）を行いますが、スキー技術を客観的に評価することは大変困難なことです。それは変化に富んだ自然条件を、テストの客観性を保つために一定にすることは不可能だからです。しかしながら、ＹＭＣＡがワッペンテストを取り入れるのは、ワッペンが子どもたちにとって練習してきた成果を客観的に認識する手段であり、さらに、次の目標にチャレンジする大きな動機付けの機会となり得ると考えるからです。

ワッペンテストは、子どものスキーの特質を本質的、総合的に評価すること、またテスト自体を楽しみにするものであります。したがって、ワッペンテスト合格を目指すのではなく、子どもたちの意欲を最大に盛り立てることが目標となることをご理解下さい。

級	ワッペン	ワッペンテスト基準	
1	富　士　山	直滑降	平滑なごくゆるい斜面で直滑降ができる
2	ア イ ガ ー	ﾌﾞﾙｰｸﾌｧｰﾚﾝ	平滑なごくゆるい斜面でプルークを保持して直滑降ができる
3	マッターホルン	ﾌﾞﾙｰｸﾎﾞｰｹﾞﾝA	平滑な緩斜面で浅回りのプルークボーゲンができる
4	モンテローザ	ﾌﾞﾙｰｸﾎﾞｰｹﾞﾝB	平滑な緩斜面で深回りのプルークボーゲンができる
5	モンブラン	ﾊﾟﾗﾚﾙﾀｰﾝA	中斜面でリズムに乗ったプルークターンができる
6	キリマンジャロ	ﾊﾟﾗﾚﾙﾀｰﾝB	中斜面である程度スピードにのり、よりパラレルに近づいたプルークターンができる
7	マッキンレー	ﾊﾟﾗﾚﾙﾀｰﾝC	中斜面でスピードに乗ったパラレルターンができる。基準タイムの 130%を超える
8	アンナプルナ	ﾊﾟﾗﾚﾙﾀｰﾝD	中斜面でパラレルターン小回りができる。基準タイムの 130%以内
9	マ ナ ス ル	総合滑走A	中急斜面でリズムを変えてパラレルターン（大回り・小回り）ができる 基準タイムの 120%以内
10	エベレスト	総合滑走B	総合斜面でスピードに乗ったパラレルターン（大回り・小回り）ができるかつ、中急斜面の不整地で安全に滑走ができる　基準タイムの 110%以内
シルバー		総合滑走C	基準タイムの 105%以内
ゴールド		総合滑走D	基準タイムの 100%以内

▼斜面

ごくゆるい斜面　→　5 度　　緩斜面　→　5～10 度　　中斜面　→　10～20 度

急斜面　→　20～30 度　　総合斜面　→　緩・中・急斜面　　不整地　→　コブ、非圧雪斜面

▼タイムトライアル（制限滑走）

ＹＭＣＡスキーリーダーにおいて基準者と認定された指導者 1～2 名がタイムトライアルを行い、その平均値を基準タイムとするテストです。

▼タイムトライアルができない場合

天候や各キャンプの事情によって実施できない場合は、種目滑走によるテストを行います。

「ＹＭＣＡスローガン」

みつかる

ＹＭＣＡなら、したい何かがきっとみつかる。

「したい何か」それは千差万別です。
けれどＹＭＣＡには、それぞれの「個」の願望に応えられる、様々なプログラムがあります。
たとえば、アクティブな「個」を躍動させる運動プログラム。知性を高める教育などのカリキュラム。
人それぞれの「したい何か」がみつかる場所、それがＹＭＣＡです。
「したい何か」を求める人びと、それは向上心のある、前向きな人びとです。
その目的は多種多様。ＹＭＣＡは、アフタースクールや介護といった、人が安心できる時間や空間づくりまで、
その人の「したい何か」がみつかるように事業・活動を展開しています。

つながる

全国・世界的組織なので、つながるレベルが違います。

「みつかる」の先にある、「つながり」の創出を大切にしています。
もっとも身近な人である家族、コミュニティ、全国、世界の人びとと、
日本ＹＭＣＡ基本原則にある、共に「分かちあう」つながりを創っていきます。
その想いを込めて、ＹＭＣＡはネットワーク力を
オリジナリティに満ちた価値として提供していきます。

よくなる

一人ひとりがよりよく育つということ。

みつかる、つながることで、よりよくなることができる。
それは、一人ひとりが成長していくということ。
ときに、みつかり、つながらなければ果たせなかった
ダイナミックな成長が可能となり、そして生きていく希望をもたらすでしょう。
誰と出会い、どうつながるかが、とても重要な意味を持っています。

これからの世界に不可欠なかけがえのない場所。

ＹＭＣＡはこれからの世界に不可欠なかけがえのない居場所です。
その居場所は「みつかる。つながる。よくなる」を提供できる場そして全国各地に広がっています。
多様な活動のそれぞれの場が、あなたの居場所となる可能性があります。
また、その居場所にいることで、あなたはポジティブな生き方を始めることができます。
他に比べるものがない程の特別な場所。それがＹＭＣＡです。


みつかる。
つながる。
よくなっていく。